

2-04

高等学校入学者追跡調査

研究報告書第8号

高等学校入学者追跡調査

1978.3

山形県立図書館



山形県教育センター

37

ヤ

昭和53年3月刊

高等学校入学者追跡調査

山形県教育センター

目 次

- I 趣 旨
- II 調 査 内 容
- III 調 査 対 象
- IV 調査の手続き
- V 調査の結果
 - 1. 高等学校成績と、学力検査得点、中学校5段階成績、調査書成績、及び総合段階との相関
 - 2. 出身中学校の規模別による高等学校成績の推移
 - 3. 性別による高等学校成績の推移
 - 4. 卒業年度別による高等学校成績の推移
 - 5. 学力検査得点段階と調査書成績段階とが著しく異なる者の高等学校成績の推移
 - 6. 中学校生徒活動評定と高等学校入学後の生徒活動状況との関連
 - 7. 工業に関する学科、及び衛生看護科における色覚異常生徒の学習状況並びに進路状況
- 付 表

発行者 寄贈



K376.84
7

概 要

この報告書は、県立高等学校の昭和48,49年度入学者を対象とし、昭和50年度から3年間にわたる追跡調査をまとめたものである。調査の基礎資料として、中学校から提出された調査書・指導要録抄本、高等学校の各学年末成績・生徒活動状況の評定、更に該当校への問い合わせに対する回答文書等を用いた。

調査内容は大別して次の四つである。

1. 高等学校入学後の成績が、調査書成績、学力検査得点、総合段階成績のいずれに最も高い相関を示すかを明らかにする。
2. 出身中学校規模別、性別、卒業年度別にみた高等学校入学者、及び学力検査得点と調査書成績とが著しく異なる者の各高等学校における成績の推移をみる。
3. 中学校と高等学校における生徒活動の関連性をみる。
4. 色覚異常生徒の実態と高等学校における学習活動、進路にかかわる問題点の有無を調べる。

以上のうち、1, 2の調査では、項目ごとに10段階に等分した数値を用いた。3の調査に必要な高等学校における生徒活動の評定は、特に依頼した該当校の評価によった。

調査の結果を要約すると次のとおりである。

1. 相関を調べた組み合わせのうち、高等学校成績と最も相関度が高いのは総合段階で、逆に最も低いのは調査書成績である。また、前回調査(昭和42, 43年度入学者)の結果とくらべると調査書成績との相関が低くなっている。
2. 学力検査得点を基準としてみると、より小規模の中学校出身者の成績の伸びが大きく、逆に調査書を基準にとると、より大規模の中学校出身者の伸びが大きくなっている。
3. 高等学校入学後の成績の推移を性別にみると、概して、男子の伸びは女子よりも大きくなっている。
4. 現役と過年度卒者の成績比較では、学力検査得点を基準にすると現役入学者の伸びが大きく、調査書を基準とすると過年度卒者の伸びが大きい。
5. 学力検査得点段階と調査書成績段階とが著しく異なる者を、前者がよい場合と後者がよい場合の二つに区分して比較すると、学力検査得点段階がよい者は、逆の者より高等学校第1学年の成績がよい傾向がみられる。
6. 高等学校における生徒活動の活発な者は、中学校生徒活動評定のよりよい者から多く現れる傾向がある。
7. 色覚異常者の工業高等学校入学者は、日常の学習活動の実験実習等で消極的になりがちであり、また、せっかくの専門知識・技能を生かす職種につきにくい。

は し が き

高等学校入学者の実態を、現行選抜制度との関連で正確に把握しておくことは、将来の選抜制度改善の際の基礎資料となるばかりでなく、各中学校、高等学校における日常の学習指導・生徒指導・進路指導にとっても有益な資料を提供することになると思われる。本調査研究に着手した動機もここにあり、ねらいでもあった。

この報告書は、県立高等学校20校の昭和48, 49年度の入学者約5,000名についてのデータを各3年間にわたり追跡調査し、その分析結果をまとめたものである。今回の調査では、前回の調査(昭和42, 43年度入学者)時点とは選抜制度に若干の差異が生じているが、重要な項目については比較検討したいと考えたので、調査方法及び調査対象校は前回に準ずることにした。調査内容の主たる部分は、統計数値項目間の比較分析であり、それらをできるだけわかりやすくするため図表を多く採用し、また生の数値の代りに記号を多く用いてある。なお、図表や記号表示のもとになった数値は、巻末の付表にあるので必要に応じて参照されたい。

本書はまた、現行選抜制度の下での高等学校入学者の実態に関する最新の情報として充分検討され、関係各方面それぞれの立場で大いに活用されることを望みたい。

この研究をすすめるにあたって、協力校として3年間、生徒一人一人について詳細な資料作成の労をとってくださった各高等学校の関係者に対して深く感謝申し上げます。

また、それぞれ専門の立場から有益な助言をしてくださった国立教育研究所の沢田利夫氏、及び統計数理研究所の鈴木義一郎氏に対して深甚なる感謝の意を表します。

昭和58年3月

山形県教育センター所長

蜂 屋 英 夫

I	趣 旨	1
II	調 査 内 容	1
III	調 査 対 象	1
IV	調 査 の 手 続 き	2
V	調 査 の 結 果	5
1.	高等学校成績と、学力検査得点、中学校5段階成績、調査書成績、及び総合段階との関関	5
2.	出身中学校規模別による高等学校成績の推移	15
3.	性別による高等学校成績の推移	18
4.	卒業年度別による高等学校成績の推移	19
5.	学力検査得点段階と調査書成績段階とが著しく異なる者の高等学校成績の推移	20
6.	中学校生徒活動評定と高等学校入学後の生徒活動状況との関連	23
7.	工業に関する学科、及び衛生看護科における色覚異常生徒の学習状況並びに進路状況	25
○	付 表	27

I 趣 旨

高等学校入学者の学習状況、生徒活動の実態等を3年にわたって追跡調査し、高等学校入学
者選抜方法を改善する際の基礎資料を得るとともに、高等学校・中学校における学習指導、生徒
指導、及び中学校における進路指導の改善に資する。

Ⅱ 調 査 内 容

1. 高等学校成績と

学力検査得点（国語，数学，英語の学力検査得点の合計）

中学校 5 段階成績（指導要録中の中学校 3 か年間の各教科の評定の合計）

調査書成績（調査書中の第3学年の各教科の評定及び生徒活動評定の合計）

中学校 10 段階成績（調査書中の第 3 学年の各教科の評定の合計）

総合段階 A (学力検査得点及び調査書成績による)

総合段階 B (学力検査得点及び中学校 10 段階成績による)

との相関。

2. 出身中学校規模別、性別、卒業年度別による高等学校成績の推移、及び学力検査得点段階と調査書成績段階とが著しく異なる者の高等学校成績の推移。

3. 中学校生徒活動評定と高等学校入学後の生徒活動状況との関連。

4. 工業に関する学科、及び衛生看護科における色覚異常生徒の学習状況並びに進路状況。

Ⅲ 調 査 対 象

1. 調査内容 1～3 について

- (1) 全日制普通科の生徒を対象とした。
- (2) 協力校及び調査人数は次のとおりである。

高等学校	48年度 入学者	49年度 入学者
山形東	269	275
山形南	258	271
山形中央	261	273
寒河江	272	282
大石田	180	186

高等学校	48年度 入学者	49年度 入学者
米沢興譲館	224	232
高 畠	130	138
長 井	265	281
鶴 岡 北	245	274
酒 田 東	247	271
計	2,353	2,482

注 ① 協力校は前回の調査（昭和42，43年度入学者対象）と同じである。

② 転校、退学、及び資料の不備等があるものを除いて、4,469 名について集計した。

2. 調査内容4について

- (1) 工業に関する学科を設置する学校の該当生徒全員を対象とした。
 (2) 協力校及び調査人数は次のとおりである。(校名は調査当時のもの)

高等学校		48年度 入学者	49年度 入学者	高等学校		48年度 入学者	49年度 入学者
全 日 制	山形工業	7	6	定 時 制	鶴岡工業	4	7
	天童商工	1	1		酒田工業	2	5
	寒河江工業	5	4		山形工業	4	
	東根工業	1	4		長井工業	1	
	新庄工業	3	6		鶴岡工業	2	
	米沢工業	7	8				
	長井工業	1	2	計		38	43

注 ① 山辺高等学校衛生看護科の入学者には該当生徒がいなかった。

- ② 49年度定時制入学者については、51年度末には進路状況等の資料が得られないので、対象から除外した。

Ⅳ 調査の手続き

1. 調査内容1について

(1) 入学前の資料

- ① 学力検査得点、中学校5段階成績、調査書成績、中学校10段階成績について、それぞれ各高等学校ごとに、調査対象者の最高、最低の間を等間隔に10段階に分けた。
 ② 総合段階Aは学力検査得点、調査書成績により、総合段階Bは学力検査得点、中学校10段階成績により、各高等学校ごとに、入学者選抜の際と同様の方法により総合段階をつくった。

(2) 入学後の資料

① 高等学校成績A

各学年末の国語、社会、数学、理科、英語の5段階評定(2科目以上履修した教科は平均とし、小数第2位を四捨五入する)を合計し、それを次のように10段階に分けた。

段 階	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
区 間	25.0	23.5	22.0	20.5	19.0	17.5	16.0	14.5	13.0	11.5
	23.6	22.1	20.6	19.1	17.6	16.1	14.6	13.1	11.6	10.0

② 高等学校成績B

3か年間の国語、社会、数学、理科、英語の5段階評定を合計し、それを次のように10段階に分けた。

段 階	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
区 間	75.0	70.5	66.0	61.5	57.0	52.5	48.0	43.5	39.0	34.5
	70.6	66.1	61.6	57.1	52.6	48.1	43.6	39.1	34.6	30.0

(3) 入学前の資料と入学後の資料との関連

- ① 次の各資料間の関連性をみるため、ピアソンの相関係数を算出した。なお、相関係数の算出等は、当センターの電子計算機を用いて行った。

- ア 高等学校成績A、Bと学力検査得点
 イ 高等学校成績A、Bと中学校5段階成績
 ウ 高等学校成績A、Bと調査書成績
 エ 高等学校成績A、Bと中学校10段階成績
 オ 高等学校成績A、Bと総合段階A、B

- ② 上記①で算出した相関係数について、それらの差の有意性を検定した。

(4) 前回調査結果との関連

- ① 次の相関係数について、それらの差の有意性を検定した。

- ア 高等学校成績Aと学力検査得点
 イ 高等学校成績Aと中学校5段階成績
 ウ 高等学校成績Aと中学校10段階成績
 エ 高等学校成績Aと総合段階B

2. 調査内容2について

- (1) 出身中学校を次のように規模別に分けた。(学校教育法施行規則第55条による)

大規模校：19学級以上の学校

中規模校：12学級以上18学級以下の学校

小規模校：11学級以下の学校

- (2) 学力検査得点段階と調査書成績段階との差が4段階以上ある者を著しく異なる者とした。
 (3) 調査内容1と同様の手続きにより、出身中学校規模別、性別、卒業年度別に各高等学校における成績の推移をみた。
 (4) 調査内容1と同様の手続きにより、上記著しく異なる者の各高等学校における成績の推移をみた。

3. 調査内容3について

- (1) 各高等学校に、中学校生徒活動評定基準に基づく生徒活動の評価を依頼した。
- (2) これによる高等学校生徒活動評定と中学校生徒活動評定との関連性を検討した。

4. 調査内容4について

- (1) 色覚異常生徒の数、及び程度を調べた。
- (2) 学習指導、進路指導上の問題点、及び進路状況を調べた。

V 調査の結果

1. 高等学校成績と、学力検査得点、中学校5段階成績、調査書成績、及び総合段階との関係

高等学校成績 A、B と、学力検査得点、中学校5段階成績、調査書成績、中学校10段階成績、総合段階 A、B との相関係数は付表 I である。

(1) 表 I、II は付表 I をもとにして、相関係数の分布と各項目の中央値をまとめたものである。

表 I 相関係数の分布(学校数) — 48年度入学者 —

相関係数	0.1~	0.2~	0.3~	0.4~	0.5~	0.6~	0.7~	中央値(差)
学力検査得点	第1学年		2	3	5			0.50 -0.05
	第2学年		1	5	3			0.45 -0.02
	第3学年	1	1	6	2			0.48
	3か年		2	3	5			0.48
中学校5段階成績	第1学年		2	5	2	1		0.47 -0.09
	第2学年		6	3	1			0.38 -0.01
	第3学年		1	5	3	1		0.37
	3か年		4	4	2			0.42
調査書成績	第1学年		1	5	2	1		0.35 -0.02
	第2学年		5	1	3	1		0.33 -0.03
	第3学年	1	4	1	3	1		0.30
	3か年		4	2	3	1		0.33
総合段階 A	第1学年			3	3	3	1	0.56 -0.04
	第2学年			1	3	4	2	0.52 -0.02
	第3学年		1	1	3	4	1	0.50
	3か年			4	3	3		0.56
中学校10段階成績	第1学年			1	5	2	1	0.38 -0.04
	第2学年				4	1		0.34 -0.02
	第3学年			4	2	3	1	0.32
	3か年			3	3	1	2	0.35
総合段階 B	第1学年			4	1	4	1	0.57 -0.03
	第2学年			1	3	5	1	0.54 -0.03
	第3学年		1	1	3	4	1	0.51
	3か年			1	3	1	5	0.57

表Ⅱ 相関係数の分布（学校数） — 49年度入学者 —

相関係数	0.1～	0.2～	0.3～	0.4～	0.5～	0.6～	0.7～	中央値（差）
学力検査得点								
第1学年			3		5	2		0.55 -0.05
第2学年		1	2	2	4	1		0.50 -0.03
第3学年		1	2	4	3			0.47
3か年			3		5	2		0.55
中学校5段階成績								
第1学年		2	2	4	1		1	0.44 -0.02
第2学年	1	2	1	4	1	1		0.42 -0.02
第3学年	1	2	1	4	1	1		0.40
3か年	1	1	2	4		1	1	0.46
調査書成績								
第1学年		4	2	2	1		1	0.35 0
第2学年	1	3	2	2	1	1		0.35 -0.02
第3学年	1	2	5		1	1		0.33
3か年	1	2	4	2	1		1	0.37
総合段階A								
第1学年				3	2	3	2	0.60 -0.05
第2学年			2	2	3	2	1	0.55 -0.04
第3学年			2	3	3	2		0.51
3か年			1	2	2	3	2	0.60
中学校10段階成績								
第1学年		3	2	2	2	1		0.39 -0.01
第2学年		4	2	2	1	1		0.38 -0.02
第3学年	1	2	3	2	2			0.36
3か年		2	3	3	1	1		0.40
総合段階B								
第1学年				3	1	4	2	0.61 -0.03
第2学年			2	2	2	3	1	0.58 -0.05
第3学年			2	2	4	2		0.53
3か年				3	1	4	2	0.62

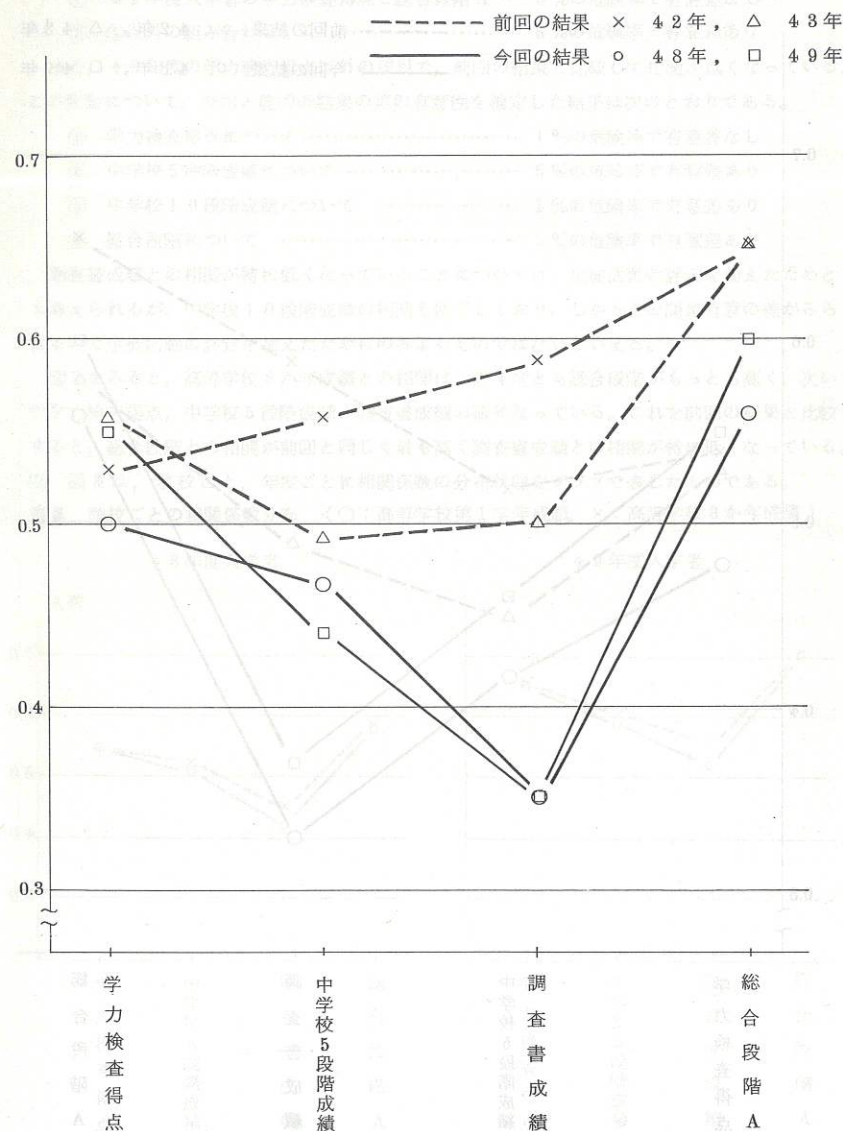
各項目の相関係数は、0.13から0.77までの間にあり各学校間にかなりのばらつきがみられる。

選抜時の判定資料としている学力検査得点、調査書成績、総合段階Aを中央値と比較すると、48年度、及び49年度入学者ともに総合段階Aとの相関が最も高く、学力検査得点、調査書成績の順になっている。

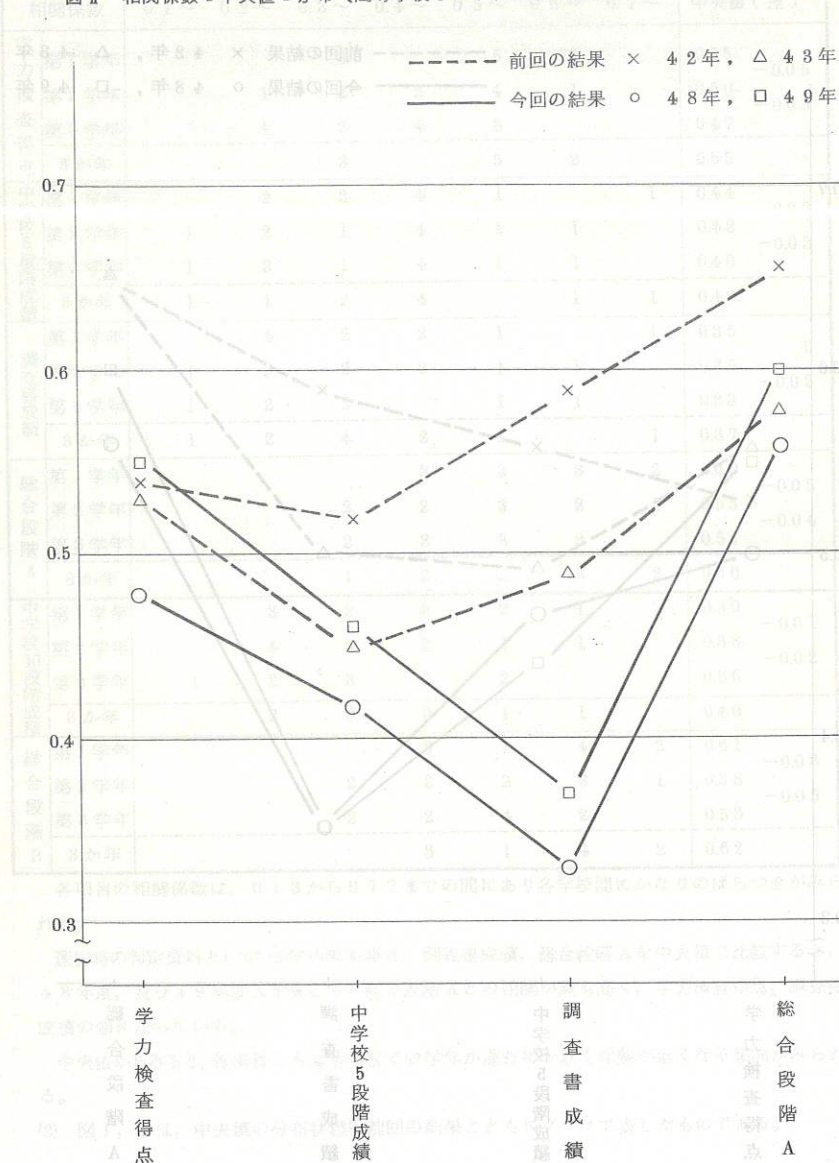
中央値からみると、各項目とも高等学校での学年が進むにつれて相関が低くなる傾向がみられる。

(2) 図Ⅰ、Ⅱは、中央値の分布状態を前回の結果とともにグラフで表したものである。

図Ⅰ 相関係数の中央値の分布（高等学校第1学年成績との相関）



図Ⅱ 相関係数の中央値の分布（高等学校3か年成績との相関）



図Ⅰの各項目について、48及び49年度入学者ごとに中央値の差の有意性を検定した結果は次のとおりである。

- ① 49年度入学者の学力検査得点と総合段階A … 5%の危険率で有意差なし
- ② ①以外の組み合わせ … 5%の危険率で有意差あり

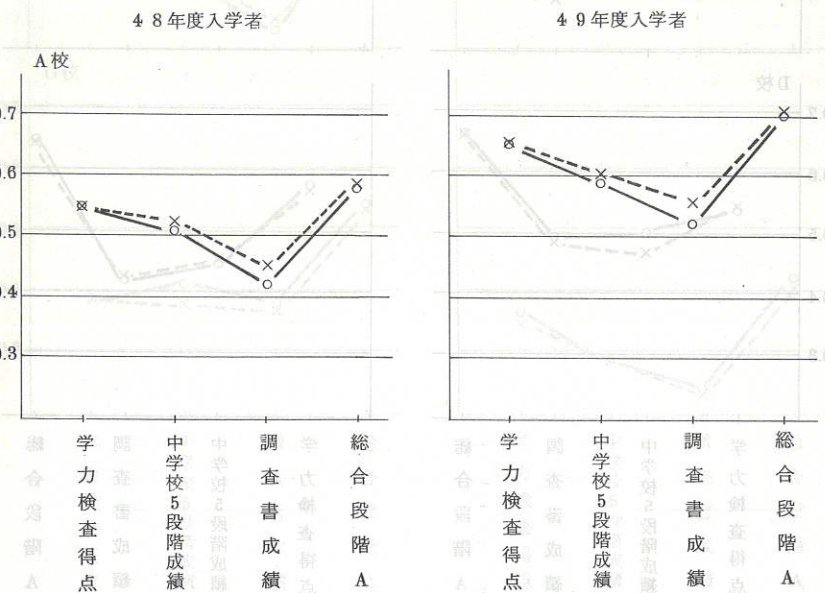
また、49年度の学力検査得点以外の項目で、前回の結果と比較して相関が低くなっている。この変動について、今回と前回の結果の差の有意性を検定した結果は次のとおりである。

- ① 学力検査得点について … 1%の危険率で有意差なし
- ② 中学校5段階成績について … 5%の危険率で有意差あり
- ③ 中学校10段階成績について … 1%の危険率で有意差あり
- ④ 総合段階について … 5%の危険率で有意差あり

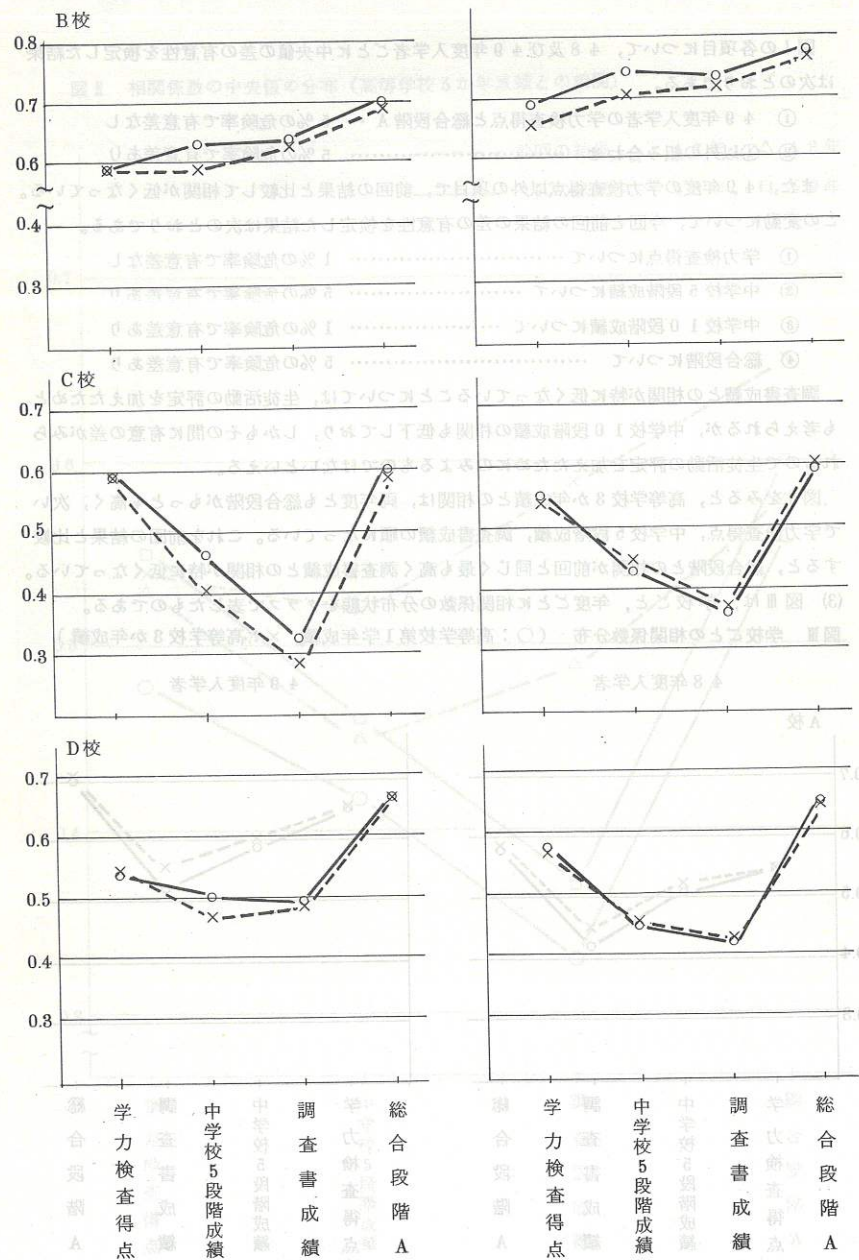
調査書成績との相関が特に低くなっていることについては、生徒活動の評価を加えたためとも考えられるが、中学校10段階成績の相関も低下しており、しかもその間に有意の差がみられるので生徒活動の評価を加えたためのみよるものではないといえる。

図Ⅱをみると、高等学校3か年成績との相関は、両年度とも総合段階がもっとも高く、次いで学力検査得点、中学校5段階成績、調査書成績の順になっている。これを前回の結果と比較すると、総合段階との相関が前回と同じく最も高く調査書成績との相関が特に低くなっている。

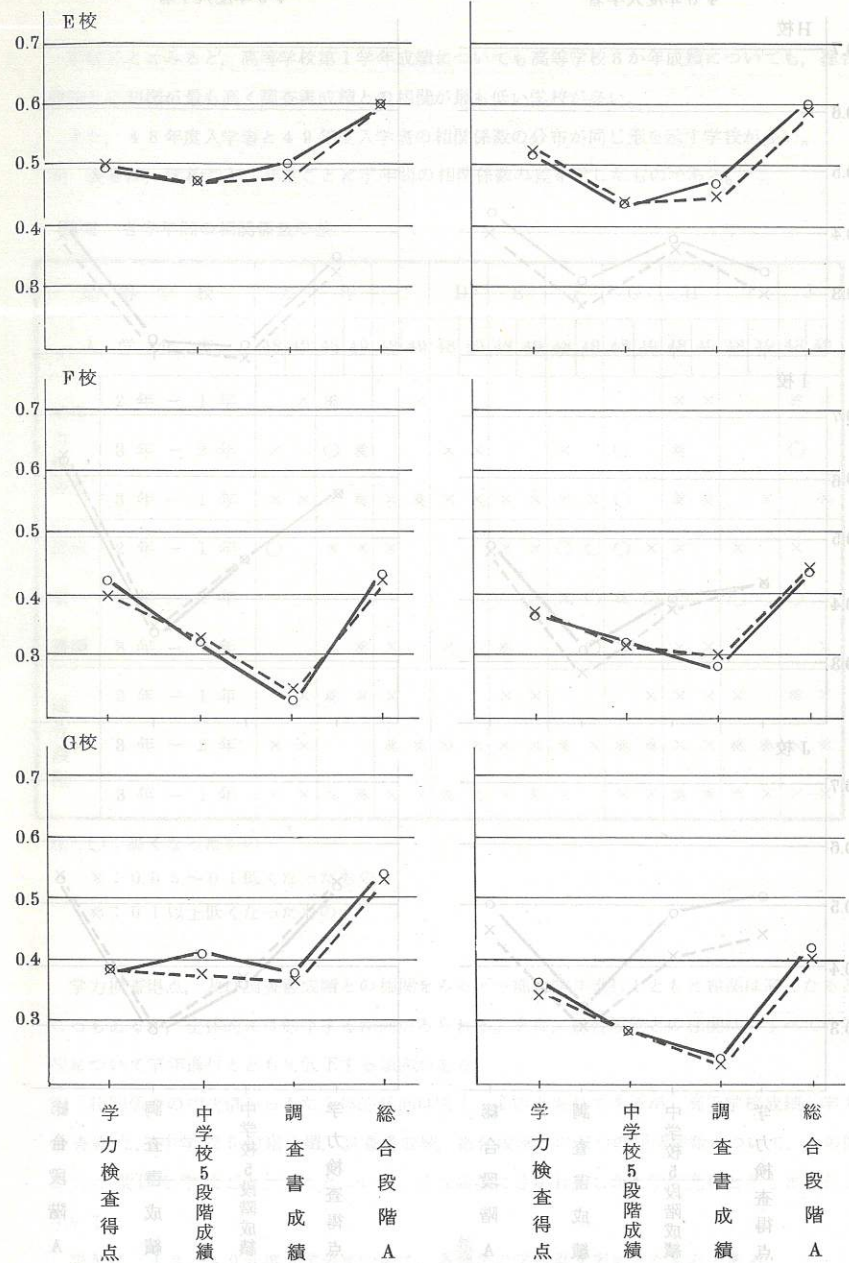
(3) 図Ⅲは、学校ごと、年度ごとに相関係数の分布状態をグラフで表したものである。



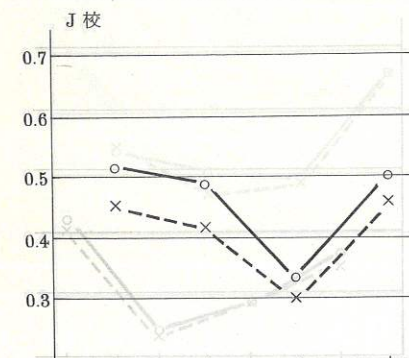
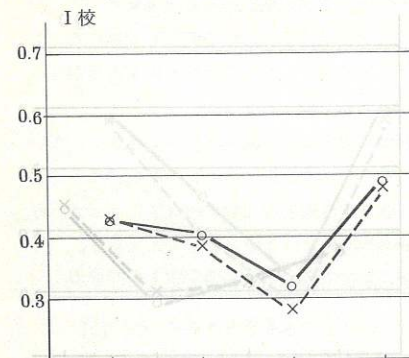
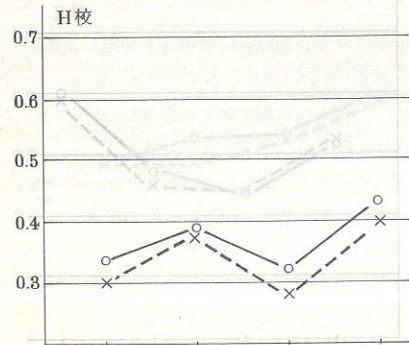
49 年度入学者



49年度入学者

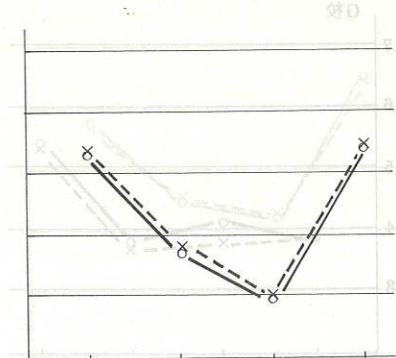
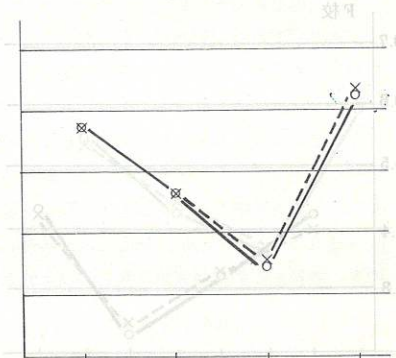
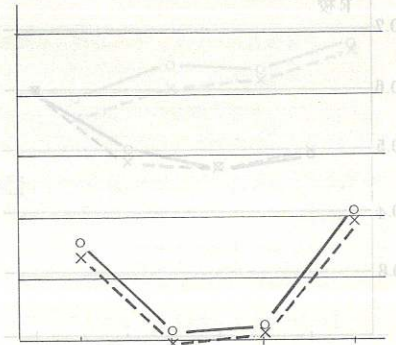


48年度入学者



学力検査得点
中学校5段階成績
調査書成績
総合段階A

49年度入学者



学力検査得点
中学校5段階成績
調査書成績
総合段階A

学校ごとにみると、高等学校第1学年成績についても高等学校3か年成績についても、総合段階との相関が最も高く調査書成績との相関が最も低い学校が多い。

また、48年度入学者と49年度入学者の相関係数の分布が同じ形を示す学校が多い。

(4) 表Ⅲは、学校ごと、年度ごとに学年間の相関係数の差を示したものである。

表Ⅲ 各学年間の相関係数の差

高等学校		A		B		C		D		E		F		G		H		I		J	
入学年度		48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49
学力検査点	2年-1年		×	※			×									×	×			※	×
	3年-2年	×		○	※			×	×			×		○		※				○	
	3年-1年	×	×	×	※	×	※	×	×	×	×	×	×	○		※	※	×		×	×
調査書成績	2年-1年	○		×	×	×				×	×	○	○	○	×	×		×		×	
	3年-2年									×	×	○	※	○	○		○		○		
	3年-1年			※	※	×		×	※			○	×		×	×	×			×	
総合段階A	2年-1年		×	※	×	×				×	×				×	×	×	×		※	×
	3年-2年	×	×			※	※	※	×	×	×	×	※	※	×	×	※	※	×	×	※
	3年-1年	×	×	※	※	×	×	※	※	×	※	×		×	×	※	※	※	×	×	×

注 ○：高くなったもの

×：0.05～0.1低くなったもの

※：0.1以上低くなったもの

学力検査得点、及び調査書成績との相関をみると一部に学年進行とともに相関は高くなることもあるが、全体的には低下する傾向がみられる。また、総合段階との相関は、すべての学校について学年進行とともに低下する傾向がある。

(5) 相関係数の中央値からみた全体的傾向は図Ⅰ、Ⅱのとおりであるが、高等学校成績と学力検査得点、中学校5段階成績、調査書成績、総合段階との四つの相関係数について、その間の大小関係を学校ごとにみると、いろいろな類型に分かれ、しかも学年進行とともに変化している。

表Ⅳは、48、49年度入学者について、各種型の学校数を表にしたものである。

表Ⅳ 相関の種類

類 型	A			B
	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	3 か 年
① 総 $\geq$ 学 $\geq$ 調	※65% (8%)	65% (12%)	65% (19%)	70% (19%)
② 総 $\geq$ 学 $\geq$ 調 $\geq$ 中	15 (38)	15 (36)	10 (12)	10 (15)
③ 総 $\geq$ 中 $\geq$ 学 $\geq$ 調	10	5	5	5
④ 総 $\geq$ 中 $\geq$ 調 $\geq$ 学	5 (4)	(4)	(12)	5 (19)
⑤ 総 $\geq$ 調 $\geq$ 中 $\geq$ 学	5 (30)	10 (24)	5 (19)	(22)
⑥ 総 $\geq$ 調 $\geq$ 学 $\geq$ 中	(8)	(12)	5 (15)	5 (15)
⑦ 中 $\geq$ 総 $\geq$ 調 $\geq$ 学		(8)	5 (12)	(4)
⑧ 学 $\geq$ 総 $\geq$ 中 $\geq$ 調	(4)	5	5 (4)	5 (4)
⑨ 調 $\geq$ 総 $\geq$ 中 $\geq$ 学	(8)	(4)	(8)	
⑩ 調 $\geq$ 総 $\geq$ 学 $\geq$ 中				(4)

注 ① 総：総合段階 A，学：学力検査得点，中：中学校 5 段階成績，調：調査書成績

② 例えば，※の 65% は①の類型を示す 48 年度 6 校，49 年度 7 校計 13 校の，両年度の協力校，10 校 $\times$ 2 = 20 校に対する割合である。() 内の数字は前回の結果

③ ①，②は表Ⅴについても同じ

表Ⅳからみられるように高等学校成績 A，及び B との相関の高さは，総合段階 A，学力検査得点，中学校 5 段階成績，調査書成績の順になっている学校が圧倒的に多い。

高等学校第 1 学年では，五つの類型に分かれるが，いずれの類型においても総合段階 A との相関が最も高い。学年進行とともに類型の出現率に若干の変動があるが，前回の結果ほど多様化していない。

表Ⅴは，中学校 5 段階成績を除いた三つの項目について同じように類型に分け，各類型ごとの学校数を示したものである。

表Ⅴ 相関の種類

類 型	A			B
	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	3 か 年
① 総 $\geq$ 学 $\geq$ 調	90% (46%)	85% (48%)	80% (33%)	85% (33%)
② 総 $\geq$ 調 $\geq$ 学	10 (42)	10 (48)	15 (56)	10 (59)
③ 学 $\geq$ 総 $\geq$ 調	(4)	5	5 (4)	5 (4)
④ 調 $\geq$ 総 $\geq$ 学	(8)	(4)	(7)	(4)

前回の結果では，類型①，②がほぼ同数で，両者が大半を占めていたのに対し，今回の結果では高等学校成績 A，B いずれに対しても類型①が圧倒的に多い。

2. 出身中学校規模別にみた高等学校成績の推移

出身中学校規模等の相違による高等学校成績の推移の違いをみる指標としては，さまざまなものが考えられるが，本調査では前回調査と同じく以下に述べるような方法をとった。

例えば，ある高等学校の大規模中学校出身者の高等学校成績と学力検査得点との相関表が，表Ⅵのようであったとする。

表Ⅵ 高等学校成績と学力検査得点との相関表の例

B	A	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
1		1	1	2	2	1						7
2		1		4	3	3	3	1		2		17
3		1	4	2	2	8	4	2				23
4				1	2	5	5	3	1		1	18
5				2	3	6	2	2	5	2	1	23
6			2	2	1	6	7	6	4	5	1	34
7				1	3	4	11	4	5	3	2	33
8					1	2	3	4	3	4		17
9				1		2			1	1		5
10						1						1
計		3	7	15	17	38	35	22	19	17	5	178

注 ① A：学力検査得点，B：高等学校成績，②段階 1 が最も成績がよい

この表から，学力検査得点と高等学校成績の段階の平均を算出すると，それぞれ 5.84，5.19 となる。この平均値は，この高等学校入学者のうち大規模中学校出身者は，学力検査得点では平均して 5.84 段階であり，高等学校の学年末の評定では平均して 5.19 段階となっていることを示している。したがって，両平均値の差 0.65 は，大規模中学校出身者は平均して 0.65 段階向上したと考えてよいだろう。

注 この相関表では，段階 1 が成績の最もよいことを示しているのので，5.84 と 5.19 とでは 5.19 の方がよいことになる。

同様に，この高等学校の小規模中学校出身者の相関表から二つの平均値を算出して，学力検査得点では 5.96，高等学校成績では，4.66 となり，その差は 1.30 となったとする。このことは小規模中学校出身者は 1.30 段階向上したものと考えることができる。

次いで，大規模中学校出身者と小規模中学校出身者の向上した段階を比較すれば，大規模中学校出身者の向上した段階は 0.65，小規模中学校出身者は 1.30 であることから，その差は -0.65 となり，学力検査得点を基準にした場合，小規模中学校出身者は大規模中学校出身者にくらべてより大きく向上したと考えてよいし，また学力検査得点の等しい大，及び小規模中学校出身者について比較した場合，平均してみれば小規模中学校出身者の方が高等学校入学後，よりよい成績をおさめたと考えることができる。

ここでは，これによって各規模中学校出身者ごとに成績伸長の度合いを比較し，高等学校入学後の成績の推移の違いをみることにした。

表Ⅶ-1～3は、出身中学校規模別に学力検査得点、調査書成績、及び総合段階Aを基準とした高等学校成績の推移の違いを示したものである。（基礎資料は付表Ⅱ）

表Ⅶ-1 学力検査得点を基準とした高等学校成績の推移の違い

高等学校	入学年度	A		B		C		D		E		F		G		H		I		J	
		48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49
第1学年	大 - 中					×	×			×						○				◎	◎
	大 - 小									×	※			×	※	×					◎
	中 - 小										×			※	※	×					※
第2学年	大 - 中					×	×	×		×						○				×	○
	大 - 小							×		×	※	※		※	×	×	×	×			
	中 - 小			×		×				×	×			×	※	※	×				※
第3学年	大 - 中							×	×	×										※	
	大 - 小	×	×					×		×	※			×	※	×				※	×
	中 - 小		×								×			×	※	※					×

注 ① 大：大規模校，中：中規模校，小：小規模校

② より大きい規模校出身者の伸長の度合いが大きい

◎：1.0段階以上，○：0.5～1.0段階

より小さい規模校出身者の伸長の度合いが大きい。

※：1.0段階以上，×：0.5～1.0段階

③ 斜線は該当者のいないことを示す

④ ①，②，③の記号は表Ⅶ-2，3についても同じ

表Ⅶ-2 調査書成績を基準とした高等学校成績の推移の違い

高等学校	入学年度	A		B		C		D		E		F		G		H		I		J	
		48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49
第1学年	大 - 中	○	○			◎	◎	◎	◎	○	○			◎	◎	◎	◎	×		◎	◎
	大 - 小	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		○		◎
	中 - 小	◎	◎	×						○		◎				○		○		◎	
第2学年	大 - 中			○		◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	×		◎	◎
	大 - 小	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		○		◎
	中 - 小	◎	◎	×						○				◎	◎	◎	◎		○		◎
第3学年	大 - 中			○		◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	×		※	◎
	大 - 小	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎		◎
	中 - 小	◎	◎	×						○		◎				○		○		◎	◎

表Ⅶ-3 総合段階を基準とした高等学校成績の推移の違い

高等学校	入学年度	A		B		C		D		E		F		G		H		I		J	
		48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49
第1学年	大 - 中					○	○	○						○	○	○	○			◎	◎
	大 - 小	◎	◎			◎	◎	○						○	○	○					◎
	中 - 小	○	○																	◎	
第2学年	大 - 中					◎	◎	○						○	○	○	○	×		○	◎
	大 - 小	○	○			◎	◎	○	○	○				○	○	○	×			◎	
	中 - 小	○												×						◎	
第3学年	大 - 中					◎	◎	○						○	○	○	○	×		※	◎
	大 - 小					◎	◎	○		○				○						◎	
	中 - 小	×							○											◎	

学力検査得点を基準とした場合は、表Ⅶ-1からみられるように、全体的傾向としては、より小さい規模の中学校出身者の伸長の度合いが大きいことがわかる。この傾向は、大規模校・中規模校間よりは、大規模校・小規模校間、及び中規模校・小規模校間で顕著である。また、年度による差はほとんどない。

しかしながら、調査書成績を基準としてみると、表Ⅶ-2にみられるように、全く逆となりより大きい規模校出身者の伸長の度合いが大きくなっている。この傾向は、学力検査得点を基準とした場合より顕著である。

表Ⅶ-3にみられるように、総合段階を基準とした場合は、より大きい規模校出身者の伸長の度合いが大きくなっている学校が多い。総合段階を基準としてみた場合、表Ⅶ-1と表Ⅶ-2が互いにその傾向を弱め合うが、表Ⅶ-2の傾向がより顕著であるためこのような結果がでたと考えられる。

3. 性別による高等学校成績の推移

表Ⅷは、性別による高等学校成績の伸長の度合いを、出身中学校の場合と同様の手続きによって、学力検査得点、調査書成績、及び総合段階を基準としてみたものである。（基礎資料は付表Ⅲ）

表Ⅷ 性別による高等学校成績の推移の違い

高等学校		A		B		C		E		H		I		J	
入学年度		48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49
学力検査得点	第1学年			○	○	○		◎				○	○		○
	第2学年					○		◎				○	○	※	
	第3学年			×				◎	×	×		○	※		
	3か年							◎				○	×		
調査書成績	第1学年	○	○	○		○	○	◎	○	○	○	○	◎	×	
	第2学年	○		×		○	○	○	○			○	○	※	※
	第3学年	○		※				○	○			○	※	×	
	3か年	○				○	○	○	○			○	※	×	
総合段階A	第1学年			○	○	○	○	◎		○	○	○			
	第2学年					○	○	◎				○	○	※	×
	第3学年			※				◎	×			○	※	×	
	3か年					○		◎				○	※		
男子の割合の多い学校		○				○		○				○			
女子の割合の多い学校				○						○				○	

- 注 ① 男子の伸長の度合いが大きい ◎：1.0段階以上，○：0.5～1.0段階
 女子の伸長の度合いが大きい ※：1.0段階以上，×：0.5～1.0段階
 ② 男女いずれか一方のみの学校、及びいずれかが極端に少ない学校は除外した。

性別による高等学校成績の推移の全体的な傾向は、男子の伸長の度合いが女子より大きく、この傾向は学力検査得点を基準にした場合よりは、調査書成績を基準にした場合の方が大きい。女子の伸長の度合いが大きい学校もあるが、それらの学校はいずれも女子の割合の多い学校であった。

4. 卒業年度別による高等学校成績の推移

表Ⅸは、49年度入学者について、現役と過年度卒者について高等学校成績の推移を、前と同様の手続きによって学力検査得点、調査書成績、及び総合段階を基準としてみたものである。（基礎資料は付表Ⅳ）

表Ⅸ 卒業年度別による高等学校成績の推移の違い

高等学校		C	D	E	F	G
学力検査得点	第1学年	◎	◎	◎	◎	◎
	第2学年	◎	◎	◎	◎	◎
	第3学年	◎	◎	◎	◎	◎
	3か年	◎	◎	◎	◎	◎
調査書成績	第1学年	※	※	※	※	※
	第2学年	※	※	※	※	×
	第3学年	※	※	×	※	
	3か年	※	※	※	※	
総合段階A	第1学年	×				
	第2学年				○	○
	第3学年		○	○	○	○
	3か年					○

- 注 ① 現役の伸長の度合いが大きい ◎：1.0段階以上，○：0.5～1.0段階
 過年度卒者の伸長の度合いが大きい ※：1.0段階以上，×：0.5～1.0段階
 ② 過年度卒者の少ない学校は除外した
 ③ 48年度の過年度卒者には、生徒活動の評定が記入されていないので比較できない。

現役と過年度卒者の高等学校成績の推移を学力検査得点を基準としてみると、現役で入学した者の伸長の度合いが大きいことがわかる。

調査書を基準とすると、全く逆になり過年度卒者の伸長の度合いが大きくなっている。しかもそれぞれの伸長の度合いは、1段階以上を示す学校が大部分であった。

総合段階を基準とした場合は、両者の差は縮まり、学年が進むにつれて現役の方がわずかに向上する学校がみられる。

5. 学力検査得点と調査書成績が著しく異なる者の高等学校成績の推移

学力検査得点の段階と調査書成績の段階の差が3段階以上ある者は全体の32.8%あり、4段階以上ある者は17.3%であった。また、5段階以上差のある者も6.8%と少数ではあるがみられた。

表X-1は、学力検査得点と調査書成績との差が4段階以上ある者の数を中学校規模別に求め、これを各規模別ごとの出身者数に対する割合で表したものである。

表X-1 両段階の著しく異なる者の割合 (1)

高 等 学 校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
48年度 入 学 者	大規模校出身者	14%	26	16	13	17	22	14	10	33
	中規模校出身者	8%	13	26	28	14	17	32	20	15
	小規模校出身者	13%	10	16	30	16	21	22	23	15
49年度 入 学 者	大規模校出身者	5%	33	14	19	12	19	16	20	42
	中規模校出身者	7%	0	19	15	14	16	29	15	16
	小規模校出身者	16%	3	18	13	15	30	33	29	22

表X-1から、4段階以上差のある者を学校ごとにみると48、49年度とも中学校規模別による特徴は認められない。

表X-2は、表X-1を学力検査得点の方がよい者と、調査書成績の方がよい者とに分けて表したものである。

表X-2 両段階の著しく異なる者の割合 (2)

高 等 学 校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
48年度 入 学 者	調査書成績の方がよい者	大規模校出身者	2%	1	1	0	9	6	1	7
		中規模校出身者	2%	12	15	28	7	6	23	6
		小規模校出身者	13%	5	12	27	9	16	20	19
	学力検査得点の方がよい者	大規模校出身者	11%	25	15	13	8	16	12	2
		中規模校出身者	7%	1	11	0	7	11	9	14
		小規模校出身者	0%	5	4	3	7	5	2	3
49年度 入 学 者	調査書成績の方がよい者	大規模校出身者	1%	0	3	2	6	10	4	7
		中規模校出身者	2%	0	12	10	8	14	21	5
		小規模校出身者	16%	1	16	8	10	26	24	29
	学力検査得点の方がよい者	大規模校出身者	4%	33	11	17	6	10	12	12
		中規模校出身者	5%	0	7	5	6	2	9	9
		小規模校出身者	0%	2	2	5	4	4	8	0

調査書成績が学力検査得点よりよい者は小規模校出身者の中に多くみられ、逆の場合は大規模校出身者の中に多くみられる。また中規模校出身者については共通した特徴は認められない。

表X-3、4は、学力検査得点と調査書成績が著しく異なる者の高等学校成績の推移を、これまでと同様の手続きによって総合段階を基準として調べたものである(基礎資料は付表V)

表X-3 両段階の著しく異なる者の高等学校成績の推移の違い (1)

高 等 学 校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
48年度 入 学 者	第1学年	○	※					○	○	
	第2学年	○	※		○					○
	第3学年	○	×	※				○	○	◎
	3か年			※	○				○	○
49年度 入 学 者	第1学年	◎ ◎	× ×		○ ○	× ×				
	第2学年	◎ ◎	× ※	×	○ ○	× ×			×	×
	第3学年	◎ ◎	× ※	×	○ ○	×	○			
	3か年	◎ ◎	× ※		○ ○	×	×	○		

注 ① 調査書成績のよい者の伸長の度合いが大きい ◎: 1.0段階以上, ○: 0.5~1.0段階
学力検査得点のよい者の伸長の度合いが大きい ※: 1.0段階以上, ×: 0.5~1.0段階
② 49年度入学者の欄で、左側は全体について右側は過年度卒者を除いたもの

表X-3は、学力検査得点が調査書成績よりよい者と、その逆の者について高等学校成績の伸長の度合いを比較したものである。これによると48年度入学者については調査書成績のよい者の伸長の度合いの大きい学校が多く、49年度入学者については全体的な傾向をみる事ができなかった。

どちらの伸長の度合いが大きいかを学校ごとにみると、第1学年時の傾向がそのまま第3学年まで保たれている。

表X-4 両段階の著しく異なる者の高等学校成績の推移の違い (2)

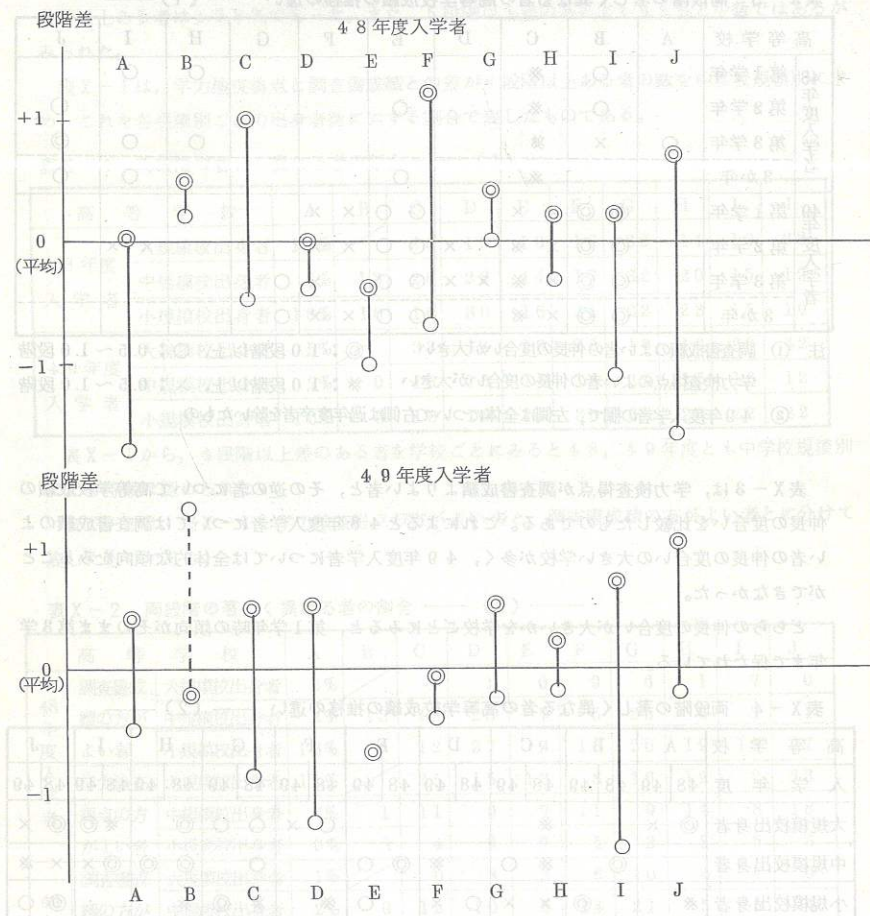
高 等 学 校	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
入 学 年 度	48	49	48	49	48	49	48	49	48	49
大規模校出身者	◎	×	※				○	×	◎	◎
中規模校出身者		◎	※	○	※	◎	○		◎	◎
小規模校出身者	※	◎	×	×	○	×	○	※	◎	◎

注 調査書成績のよい者の伸長の度合いが大きい ◎: 1.0段階以上, ○: 0.5~1.0段階
学力検査得点のよい者の伸長の度合いが大きい ※: 1.0段階以上, ×: 0.5~1.0段階

表X-4は、学力検査得点と調査書成績との差が4段階以上の者について、出身中学校規模別に高等学校第1学年成績の伸長の度合いをみたものであるが、学校ごと、また年度ごとに異なり共通した傾向をみることはできなかった。

図Ⅲは、学力検査得点段階が調査書成績段階より4段階以上よい者と、逆の者の高等学校第1学年成績を平均からの偏りで示したものである。

図Ⅲ 両段階が著しく異なる者の高等学校成績



注 学力検査得点段階の方がよい者………●
調査書成績段階の方がよい者………○

図Ⅲをみると、学力検査得点段階が調査書成績段階より4段階以上よい者は、逆の者と比較して48年度入学者についてはすべての学校で成績がよく、49年度入学者についてもこの傾向がみられる。また、多くの学校で、学力検査得点段階の方がよい者は平均段階よりよい成績をおさめている。

6. 中学校生徒活動評定と高等学校生徒活動状況との関連について

表Ⅺ 高等学校入学者の中学校生徒活動評定の分布

中学校生徒活動 入学者 人数		9	8	7	6	5以下
48年度	人数	440	652	521	455	66
入学者	割合(%)	21	31	24	21	3
49年度	人数	584	636	543	508	54
入学者	割合(%)	25	27	20	22	3

両年度ともに、中学校生徒活動評定6以上の者がほとんどである。5以下の者は極めて少なく、一部の高等学校にしかみられなかった。

中学校生徒活動評定と高等学校における生徒活動状況との関連をみるために、生徒会活動、クラブ活動、H・R活動、及びその他の諸活動も含めた全般的な教科外活動（高等学校の生徒活動とする）について、活発（A）、普通（B）、不活発（C）の3段階の評価を依頼した。なお、各段階の人数割合は中学校生徒活動評定基準に準拠した。

表Ⅺ-1は、中学校の各生徒活動評定の人数に対する高等学校の各生徒活動評定の人数割合を調べたものである。

表Ⅺ-1 中学校生徒活動評定からみた高等学校生徒活動状況

中学校生徒活動評定		9	8	7	6	5以下
高等学校生徒活動状況						
高等学校	48年度入学者	※26%	26%	19%	11%	26%
生徒活動	49年度入学者	25	20	14	10	7
評定 A	48年度入学者	24	17	13	9	15
高等学校	48年度入学者	72	73	77	84	74
生徒活動	49年度入学者	74	78	84	87	88
評定 B	48年度入学者	75	80	85	87	85
高等学校	48年度入学者	2	1	4	5	0
生徒活動	49年度入学者	1	2	2	3	5
評定 C	48年度入学者	1	3	2	4	0

注 例えば、※の26%は中学校生徒活動評定9の者440名（表Ⅺ）に対する高等学校生徒活動評定Aの者の割合である。

中学校生徒活動評定が高くなるほど高等学校生徒活動評定Aの割合がより高くなっており、高等学校における生徒活動の活発な者は、中学校生徒活動評定のよい者からより多くみられる傾向がある。また逆に、中学校生徒活動評定が低くなるほど高等学校生徒活動評定C（またはB）の割合がより高くなっており、高等学校の生徒活動の不活発（または普通）な者は、中学校生徒活動評定のより悪い者からより多くみられる傾向がある。

これらのことから、中学校生徒活動評定と高等学校生徒活動状況とは関連性があるといえる。

表Ⅻ-2は、高等学校生徒活動評定の各段階の中学校生徒活動評定平均と各高等学校入学者の中学校生徒活動評定平均との差を調べ、その結果を表にしたものである。ただし、高等学校生徒活動評定Bについては一定の傾向が認められなかったためその結果は示さない。

表Ⅻ-2 高等学校生徒活動状況からみた中学校生徒活動評定

高等学校			A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
高等学校 生徒活動 評定 A	48年度入学者	3年	○	※	◎	○	○	○	○	○	○	◎
		2年	○	※	◎	×	○	○	○	◎	○	×
	49年度入学者	3年	○	※	◎	○	◎	○	○	○	○	○
		2年	○	※	◎	○	◎	○	○	○	○	○
	48年度入学者	3年	※	◎	◎	○	×	○	○	○	○	×
		2年	×	※	※	×	※	×	×	×	×	×
高等学校 生徒活動 評定 C	49年度入学者	3年	×	◎	◎	×	×	×	×	×	×	×
		2年	×	◎	◎	×	×	×	×	×	×	×

注 ① 算出法 高等学校生徒活動評定A(またはC)の者の中学校生徒活動評定平均
—各高等学校の中学校生徒活動評定平均

② ◎: 0.5以上 ○: 0.1~0.5 平均よりよい

※: -0.5以下 ×: -0.1~-0.5 平均より悪い

高等学校生徒活動評定Aについてみると○印が多く、Cについては×印が多いことは、高等学校の生徒活動の活発な者は中学校生徒活動評定もよく、高等学校の生徒活動の不活発な者は中学校生徒活動評定も悪いという傾向を示している。

7. 工業に関する学科における色覚異常生徒の学習状況、並びに進路状況

表Ⅻ 学科別の色覚異常程度、学習指導上問題のあった生徒数、進路決定の際に問題のあった生徒数、及び進路状況

入学年度	学科	項目	入学者数	色覚異常程度				学習指導上進路決定の問題のあった生徒数		進路状況				備考	
				色弱		部分色盲		就職	大学	各種学校	その他				
				赤緑	緑	赤緑	緑								
48年度	全日制入学者	機械	7	4		1	2		4	4	2			病気に付き原級留置 1名	
		自動車	1	1				1	1		1				
		電気	8	8					3	6		2			
		電子	1	1						1					
		建築	1	1				1			1				
		土木	5	3	1	1			2	4		1			
		工業化学	4	3	1			2	3	3	1				
		化学工学	1	1						1					
		繊維工学	2	2					1	1	1				
		インテリア	1	1						1					
	小計	31	25	2	2	2	4	14	21	6	3	0			
	定時制入学者	機械	3	2		1				2		1			
		電子	1		1					1					
		建築	3		2	1				3					
小計		7	2	3	2	0	0	0	6	0	1	0			
合計		88	27	5	4	2	4	14	27	6	4	0			
	割合(%)		71	13	11	5	11	38	73	16	11	0			
49年度	全日制入学者	機械	16	8	6	2		1	6	11	1	2	1	退学 1名	
		自動車	1	1						1					
		電気	6	2	1	3			1	4	2				
		電子	1	1						1					
		建築	4	3	1					1	2	1			
		土木	8	4	1	3			3	6	2				
		工業化学	2	2					2	1	1				
		化学工学	1	1						1					
		繊維工学	2	1	1				1	1	1				
		情報技術	2	2							1		1		
	合計		43	25	10	8	0	1	13	27	10	3	2		
		割合(%)		58	23	19	0	2	31	64	24	7	5		

(1) 色覚異常の程度

色覚異常者を学科別にみると機械科に最も多く、次いで電気科、土木科に多い。そのうち赤緑色弱が多く、部分色盲は少ない。

(2) 学習指導上の問題点

学習指導上問題のあった人数は、48年度入学者で4名、49年度入学者では1名と少ないが、O・H・Pによる学習指導、電装のリード線の結線、及び採色の実習等で問題があり、学習態度が消極的になるという指摘があった。色別判断が身体の安全にかかわる実験・実習（鍛造作業、強電の結線、化学実験、土木実習等）においては特別な配慮がなされている。

(3) 進路指導上の問題点

相談来校（出願10日前）の際に、色覚異常者を不採用とする事業所もあることなどについて指導しているが、進路を決定する段階になると、求職希望と求人条件とが必ずしも一致せず、80%前後の生徒に問題が生じている。志望変更を余儀なくされた者は20%強になっている。

(4) 進路状況

弱電及び化学工業系企業では、色覚異常者を敬遠する傾向があるばかりでなく、色覚異常者を採用しない事業所があるために学科の専門性を生かせる職種に就けない者が多い。進学率（各種学校及び就職進学を含む）は両年度入学者ともに約80%で、県立工業高等学校の平均進学率約20%を上回っている。

付 表 目 次

付 表 I	相 関 係 数	28
付 表 II	中 学 校 規 模 別 平 均 段 階	30
付 表 III	性 別 平 均 段 階	32
付 表 IV	卒 業 年 度 別 平 均 段 階	34
付 表 V-1	各 高 等 学 校 の 平 均 段 階	35
付 表 V-2	学力検査得点段階と調査書成績段階との差が4段階以上 ある者の平均段階（全体）	36
付 表 V-3	学力検査得点段階と調査書成績段階との差が4段階以上 ある者の平均段階（現役）	38

付表 I 相関係数

組合せ 年度 高等学校		I 学	I 中	I 調	I 総	II 学	II 中	II 調	II 総	III 学	III 中	III 調
48 年 度 入 学 者	A	0.55	0.51	0.42	0.58	0.52	0.48	0.45	0.58	0.46	0.48	0.42
	B	0.59	0.63	0.64	0.70	0.49	0.51	0.56	0.60	0.53	0.52	0.54
	C	0.59	0.47	0.32	0.60	0.55	0.34	0.24	0.52	0.52	0.35	0.24
	D	0.54	0.50	0.49	0.66	0.55	0.43	0.43	0.62	0.48	0.43	0.41
	E	0.49	0.47	0.50	0.60	0.47	0.41	0.42	0.55	0.44	0.40	0.40
	F	0.42	0.32	0.22	0.43	0.40	0.32	0.25	0.41	0.33	0.28	0.18
	G	0.39	0.41	0.37	0.54	0.35	0.38	0.39	0.52	0.40	0.32	0.29
	H	0.34	0.39	0.32	0.44	0.28	0.31	0.24	0.35	0.17	0.31	0.25
	I	0.43	0.40	0.32	0.49	0.42	0.38	0.23	0.43	0.41	0.31	0.24
	J	0.51	0.48	0.33	0.50	0.41	0.37	0.26	0.40	0.42	0.39	0.30
49 年 度 入 学 者	A	0.66	0.59	0.52	0.70	0.59	0.57	0.50	0.64	0.59	0.54	0.50
	B	0.69	0.74	0.73	0.77	0.66	0.64	0.64	0.71	0.55	0.61	0.63
	C	0.56	0.43	0.36	0.59	0.51	0.41	0.35	0.56	0.47	0.44	0.35
	D	0.58	0.45	0.42	0.65	0.55	0.44	0.42	0.62	0.49	0.40	0.38
	E	0.52	0.44	0.47	0.60	0.48	0.44	0.42	0.54	0.45	0.40	0.35
	F	0.37	0.32	0.28	0.44	0.33	0.28	0.29	0.42	0.30	0.27	0.30
	G	0.36	0.29	0.24	0.42	0.33	0.26	0.19	0.37	0.33	0.28	0.20
	H	0.36	0.21	0.22	0.41	0.27	0.13	0.20	0.33	0.26	0.13	0.14
	I	0.57	0.46	0.34	0.63	0.54	0.43	0.34	0.59	0.52	0.42	0.31
	J	0.53	0.37	0.29	0.54	0.45	0.35	0.27	0.47	0.46	0.32	0.23

注 I : 高等学校第1学年成績
II : 高等学校第2学年成績
III : 高等学校第3学年成績
高 : 高等学校3か年成績

学 : 学力検査得点
中 : 中学校5段階成績
調 : 調査書成績
総 : 総合段階A

調査書平均値と学力検査平均値との相関係数

Ⅰ 総	高 学	高 中	高 調	高 総	Ⅰ 10	Ⅰ B	Ⅱ 10	Ⅱ B	Ⅲ 10	Ⅲ B	高 10	高 B
0.52	0.55	0.52	0.45	0.59	0.44	0.60	0.45	0.58	0.41	0.53	0.46	0.61
0.60	0.59	0.59	0.62	0.69	0.65	0.70	0.56	0.59	0.54	0.60	0.62	0.68
0.51	0.59	0.41	0.29	0.58	0.37	0.63	0.28	0.55	0.29	0.53	0.33	0.61
0.56	0.56	0.47	0.48	0.66	0.53	0.67	0.48	0.65	0.45	0.57	0.52	0.67
0.53	0.50	0.47	0.47	0.60	0.56	0.63	0.47	0.57	0.45	0.55	0.53	0.62
0.34	0.40	0.34	0.25	0.42	0.23	0.44	0.27	0.44	0.20	0.36	0.27	0.44
0.48	0.39	0.38	0.36	0.53	0.38	0.54	0.40	0.53	0.30	0.48	0.37	0.52
0.28	0.30	0.37	0.28	0.40	0.31	0.44	0.25	0.35	0.23	0.25	0.28	0.39
0.43	0.44	0.38	0.28	0.48	0.31	0.46	0.25	0.41	0.24	0.40	0.29	0.45
0.45	0.46	0.42	0.30	0.46	0.34	0.49	0.28	0.40	0.33	0.44	0.32	0.46
0.64	0.66	0.61	0.55	0.71	0.54	0.70	0.52	0.65	0.51	0.64	0.56	0.71
0.63	0.66	0.71	0.71	0.75	0.69	0.75	0.61	0.70	0.59	0.62	0.67	0.73
0.54	0.55	0.46	0.38	0.61	0.41	0.63	0.39	0.59	0.40	0.55	0.42	0.63
0.55	0.57	0.46	0.43	0.64	0.43	0.64	0.43	0.62	0.41	0.57	0.45	0.65
0.47	0.53	0.45	0.44	0.58	0.50	0.61	0.46	0.56	0.39	0.50	0.48	0.60
0.41	0.38	0.31	0.30	0.46	0.28	0.44	0.29	0.42	0.30	0.41	0.30	0.46
0.37	0.34	0.29	0.23	0.40	0.28	0.44	0.22	0.38	0.22	0.37	0.26	0.41
0.31	0.34	0.19	0.21	0.39	0.24	0.42	0.23	0.34	0.17	0.31	0.24	0.40
0.57	0.57	0.46	0.36	0.64	0.36	0.61	0.37	0.60	0.33	0.56	0.38	0.63
0.45	0.54	0.39	0.30	0.55	0.33	0.55	0.29	0.47	0.29	0.48	0.34	0.57

注 10 : 中学校10段階成績
B : 総合段階B

付表Ⅱ 中学校規模別平均段階

調査年度	中学校規模	項目	中学校5段階成績	調査書成績	学力検査得点	総合段階A	高校1年成績	高校2年成績	高校3年成績	学校3年平均成績	調査年度	中学校規模	項目	中学校5段階成績	調査書成績	学力検査得点	総合段階A	高校1年成績	高校2年成績	高校3年成績	学校3年平均成績
調査年度	A	大規模校	5.04	5.88	5.11	5.75	5.34	5.22	5.18	5.13	調査年度	A	大規模校	5.47	5.83	4.80	5.59	5.13	5.10	5.14	5.00
		中規模校	5.22	5.25	5.17	5.45	5.45	4.95	4.93	5.00			中規模校	5.19	5.30	5.10	5.40	5.36	5.04	5.16	5.12
		小規模校	3.35	3.94	5.17	4.79	5.48	4.87	4.71	4.97			小規模校	4.03	4.55	5.96	5.48	5.94	5.51	5.42	5.51
	B	大規模校	/	/	/	/	/	/	/	/		B	大規模校	/	/	/	/	/	/	/	/
		中規模校	5.87	4.94	6.10	5.75	7.67	7.17	6.88	7.09			中規模校	5.80	5.73	5.65	5.88	7.34	6.19	6.11	6.42
		小規模校	6.28	5.45	5.21	5.54	7.19	6.95	6.04	6.61			小規模校	5.74	5.76	5.79	6.03	7.29	5.98	5.86	6.27
	C	大規模校	6.33	7.49	5.36	6.62	4.97	4.75	4.43	4.63		C	大規模校	5.87	7.08	4.75	6.17	4.82	4.56	4.40	4.49
		中規模校	5.24	5.56	6.01	6.00	5.31	5.24	5.00	5.09			中規模校	5.15	5.30	5.74	5.76	5.36	5.00	5.16	5.08
		小規模校	5.01	5.31	5.74	5.77	5.35	5.12	4.89	5.05			小規模校	4.79	5.19	5.47	5.59	5.54	5.09	5.11	5.11
	D	大規模校	6.13	6.67	5.32	6.19	6.09	5.46	5.15	5.51		D	大規模校	6.70	6.29	5.59	6.20	6.15	5.88	5.67	5.86
		中規模校	4.57	4.65	6.22	5.74	6.60	5.80	5.62	5.88			中規模校	5.04	4.85	5.54	5.41	5.74	5.35	5.25	5.41
		小規模校	4.38	4.53	6.23	5.61	6.29	5.52	5.32	5.65			小規模校	5.20	5.06	5.54	5.55	6.15	5.55	5.19	5.53
	E	大規模校	5.65	6.05	5.11	5.84	5.61	5.49	5.49	5.36		E	大規模校	5.73	6.34	5.10	5.95	5.83	5.74	5.78	5.72
		中規模校	5.25	5.55	5.59	5.86	5.70	5.69	5.51	5.58			中規模校	4.56	5.15	5.57	5.62	5.39	5.62	5.67	5.46
		小規模校	4.13	4.89	5.43	5.36	5.56	5.58	5.70	5.50			小規模校	4.74	5.17	5.59	5.62	5.61	5.70	5.70	5.62
	F	大規模校	5.27	6.03	5.72	6.10	4.78	4.63	4.65	4.58		F	大規模校	4.76	5.50	5.09	5.50	4.80	4.77	4.79	4.68
		中規模校	4.83	5.63	5.43	5.77	4.46	4.46	4.51	4.40			中規模校	4.28	4.79	5.57	5.36	5.11	4.85	4.79	4.76
		小規模校	3.81	4.44	5.50	5.21	4.36	3.76	4.18	3.94			小規模校	3.73	4.13	6.08	5.39	4.69	4.43	4.54	4.39
	G	大規模校	6.01	6.22	5.35	6.05	5.00	4.89	4.76	4.73		G	大規模校	5.93	5.92	5.72	6.06	5.30	5.21	5.09	5.07
		中規模校	5.73	5.22	5.98	5.80	5.36	5.21	5.29	5.17			中規模校	4.87	4.51	5.62	5.25	5.17	5.25	5.13	5.05
		小規模校	4.94	4.44	5.58	5.24	5.02	4.78	4.86	4.86			小規模校	4.63	4.22	5.65	5.16	4.93	4.57	4.59	4.53
	H	大規模校	6.25	6.77	5.51	6.40	6.04	6.07	6.06	5.93		H	大規模校	6.49	6.73	5.81	6.52	6.05	6.05	5.70	5.86
		中規模校	5.75	5.71	5.04	5.57	6.04	6.22	5.77	5.93			中規模校	5.83	5.90	6.14	6.34	6.56	6.69	6.25	6.38
		小規模校	5.29	5.14	6.29	5.98	6.27	6.35	6.01	6.09			小規模校	5.03	5.00	6.92	6.21	6.05	6.32	5.75	6.00
	I	大規模校	5.36	5.07	4.95	5.24	5.19	6.09	5.56	5.48		I	大規模校	5.80	5.87	5.34	5.82	5.73	5.65	5.41	5.41
		中規模校	5.60	5.75	5.20	5.71	5.39	5.91	5.40	5.43			中規模校	5.93	5.74	5.34	5.79	5.56	5.29	5.56	5.35
		小規模校	5.00	5.02	5.34	5.41	5.08	5.58	5.35	5.26			小規模校	4.98	4.60	5.21	5.14	5.37	4.94	5.15	5.11
	J	大規模校	7.00	8.33	5.66	7.00	6.33	7.00	8.00	7.00		J	大規模校	7.41	7.58	5.08	6.58	5.83	5.58	5.91	5.66
		中規模校	6.29	6.89	5.68	6.52	6.10	6.17	5.92	5.97			中規模校	6.31	5.85	4.94	5.70	6.70	6.08	6.07	6.26
		小規模校	5.35	5.64	6.23	6.16	6.81	7.00	6.80	6.82			小規模校	5.61	5.21	6.41	6.09	6.96	6.56	6.66	6.62

付表Ⅱ 性別平均段階

年 度	性 別	項 目 高等学校	調 査 書 成 績	学 力 検 査 得 点	総合段階A	高校1年 成 績	高校2年 成 績	高校3年 成 績	高校3か 年 成 績	年 度	性 別	項 目 高等学校	調 査 書 成 績	学 力 検 査 得 点	総合段階A	高校1年 成 績	高校2年 成 績	高校3年 成 績	高校3か 年 成 績
48 年 度 入 学 者	男	A	5.33	5.18	5.50	5.46	5.05	4.99	5.08	49 年 度 入 学 者	男	A	5.71	5.61	5.88	5.71	5.49	5.50	5.50
		B	5.59	6.42	6.25	7.72	7.57	7.71	7.50			B	6.40	6.73	6.81	7.73	7.02	6.85	7.10
		C	6.14	5.81	6.17	5.06	4.82	4.91	4.82			C	6.18	5.60	6.15	5.28	4.97	5.18	5.04
		E	5.86	5.43	5.91	5.59	5.63	5.65	5.52			E	5.84	5.80	6.05	5.63	5.71	5.73	5.64
		F	5.57	5.62	5.82	4.65	4.42	4.56	4.44			F	5.10	5.48	5.52	4.90	4.78	4.80	4.70
	子	G	5.50	5.58	5.78	5.10	4.95	4.93	4.89		子	G	5.17	5.68	5.65	5.19	5.08	4.99	4.95
		H	5.91	5.05	5.72	5.48	5.61	5.95	5.57			H	6.18	5.91	6.31	5.80	5.99	5.85	5.82
		I	5.86	5.28	5.56	5.05	5.60	5.51	5.30			I	5.25	5.27	5.51	5.21	4.95	5.14	5.01
		J	6.52	6.52	6.72	7.25	8.06	7.95	7.64			J	5.52	6.37	6.24	6.90	7.03	7.05	6.94
	女	A	4.25	5.08	4.88	5.31	4.74	4.74	4.80		女	A	4.23	4.10	4.43	4.61	4.35	4.45	4.28
		B	4.69	5.27	5.19	7.32	6.69	5.64	6.44			B	5.36	5.17	5.51	7.03	5.41	5.33	5.81
		C	5.79	5.62	5.96	5.46	5.46	4.66	5.12			C	5.22	5.08	5.38	5.24	4.82	4.59	4.76
		D	5.80	5.70	5.97	6.22	5.52	5.26	5.60			D	5.62	5.57	5.84	6.06	5.67	5.44	5.67
		E	5.00	5.18	5.32	5.74	5.48	5.31	5.35			E	4.91	4.51	4.98	5.51	5.60	5.68	5.46
49 年 度 入 学 者	子	F	5.77	4.77	5.55	3.33	4.00	3.55	3.44	子	子	F	3.25	3.50	3.37	3.75	3.12	3.25	3.12
		H	6.38	6.09	6.49	6.63	6.66	6.03	6.33			H	6.27	6.35	6.57	6.62	6.57	5.78	6.22
		I	4.98	5.15	5.29	5.46	6.05	5.17	5.41			I	5.07	5.29	5.38	6.10	5.65	5.76	5.72
		J	6.04	5.81	6.16	6.24	6.14	5.90	6.04			J	5.59	5.64	5.90	6.76	6.06	6.16	6.24

付表Ⅳ 卒業年度別平均段階

年 度	項 目	調 査 書 成 績	学 力 検 査 得 点	総合段階A	高 校 1 年 成 績	高 校 2 年 成 績	高 校 3 年 成 績	高 校 3 か 年 成 績
現 役	A	5.29	5.20	5.48	5.41	5.18	5.21	5.17
	B	5.75	5.74	5.99	7.28	6.00	5.89	6.28
	C	5.67	5.40	5.78	5.24	4.87	4.88	4.89
	D	5.54	5.66	5.84	6.06	5.66	5.42	5.66
	E	5.49	5.44	5.71	5.56	5.64	5.68	5.56
	F	4.83	5.54	5.40	4.86	4.69	4.63	4.60
	G	5.07	5.89	5.70	5.23	5.06	4.94	4.93
	H	6.19	6.09	6.41	6.14	6.22	5.81	5.98
	I	5.19	5.27	5.47	5.49	5.17	5.33	5.24
	J	5.57	5.86	6.01	6.81	6.34	6.42	6.45
過 年 度 卒	C	8.36	4.72	6.81	5.72	5.72	6.00	5.63
	D	7.14	3.78	5.71	6.00	5.92	5.92	5.85
	E	7.50	4.70	6.30	6.50	6.60	6.70	6.40
	F	7.09	4.19	5.90	4.90	5.09	5.85	5.04
	G	5.82	4.25	5.25	4.85	5.17	5.35	5.07

付表Ⅴ-1 各高等学校の平均段階

年 度	項 目	中 学 校 5 段 階 成 績	調 査 書 成 績	学 力 検 査 得 点	総合段階A	高 校 1 年 成 績	高 校 2 年 成 績	高 校 3 年 成 績	高 校 3 か 年 成 績
48 年 度 入 学 者	A	4.79	5.13	5.16	5.38	5.43	5.00	4.94	5.03
	B	6.00	5.11	5.81	5.68	7.51	7.10	6.60	6.93
	C	5.45	5.99	5.73	6.08	5.23	5.09	4.80	4.95
	D	5.43	5.80	5.70	5.97	6.22	5.52	5.26	5.60
	E	5.14	5.59	5.36	5.73	5.63	5.58	5.55	5.47
	F	4.83	5.58	5.58	5.81	4.59	4.40	4.51	4.39
	G	5.66	5.50	5.58	5.78	5.10	4.95	4.93	4.89
	H	5.92	6.16	5.61	6.13	6.10	6.17	5.99	5.97
	I	5.22	5.23	5.24	5.47	5.18	5.75	5.40	5.34
	J	7.75	6.18	6.01	6.32	6.52	6.68	6.47	6.49
49 年 度 入 学 者	A	5.00	5.31	5.21	5.49	5.42	5.18	5.22	5.17
	B	5.75	5.75	5.76	6.00	7.30	6.02	5.91	6.30
	C	5.24	5.77	5.38	5.82	5.26	4.91	4.93	4.92
	D	5.90	5.62	5.57	5.84	6.06	5.67	5.44	5.67
	E	5.00	5.56	5.41	5.73	5.60	5.68	5.72	5.59
	F	4.43	5.03	5.42	5.44	4.86	4.72	4.74	4.64
	G	5.36	5.17	5.68	5.65	5.19	5.08	4.99	4.95
	H	6.06	6.21	6.10	6.42	6.15	6.24	5.82	6.00
	I	5.43	5.19	5.27	5.47	5.49	5.17	5.33	5.24
	J	5.95	5.57	5.86	6.00	6.80	6.34	6.42	6.44

付表 V-2 学力検査得点段階と調査書成績段階との差が4段階以上ある者の平均段階（全体）

年度	区分	項目	調査書成績	学力検査得点	総合段階A	高校1年成績	高校2年成績	高校3年成績	高校3か年成績
48年度	入学者	調	4.25	8.62	6.50	7.12	6.25	6.00	6.37
		学	7.00	2.50	4.91	5.33	4.83	4.91	4.83
	B	調	3.58	7.91	5.91	7.33	6.58	6.41	6.66
		学	7.00	3.00	5.00	7.00	6.33	5.00	6.00
	C	調	3.65	8.15	6.03	5.69	5.84	5.46	5.57
		学	8.03	3.64	6.00	4.22	3.96	3.77	3.87
	D	調	3.68	8.55	6.27	6.62	6.00	5.58	5.93
		学	8.00	3.54	5.91	6.16	5.41	5.20	5.50
	E	調	3.81	8.90	6.63	6.63	6.63	6.72	6.45
		学	7.69	3.08	5.52	6.00	6.04	6.04	5.86
	F	調	4.00	8.66	6.55	5.22	4.94	5.38	5.05
		学	7.18	2.31	5.00	3.31	3.18	3.37	3.25
	G	調	3.03	7.68	5.48	5.06	4.58	4.68	4.51
		学	7.57	2.90	5.38	4.71	4.57	4.19	4.38
	H	調	3.88	8.64	6.47	6.41	6.47	6.00	6.17
		学	7.65	3.00	5.46	5.92	5.84	5.69	5.61
	I	調	4.34	9.04	6.86	6.17	6.95	6.52	6.47
		学	6.86	2.73	4.86	4.93	5.13	5.33	5.06
	J	調	5.25	9.50	7.50	8.12	7.62	7.12	7.37
		学	7.18	2.81	5.12	5.75	6.00	6.06	5.81

注 調：調査書成績段階の方がよい者

学：学力検査得点段階の方がよい者

(参考) 調査書成績段階と学力検査得点段階との差が4段階以上ある者の平均段階（全体）

年度	区分	項目	調査書成績	学力検査得点	総合段階A	高校1年成績	高校2年成績	高校3年成績	高校3か年成績
49年度	入学者	調	3.75	7.91	5.91	5.91	5.16	5.41	5.50
		学	7.14	2.85	5.14	5.00	4.57	4.85	4.85
	B	調	4.00	8.00	6.00	6.00	5.00	5.00	5.00
		学	7.00	2.50	5.00	7.50	5.00	6.00	6.00
	C	調	3.33	8.03	5.81	6.07	5.55	5.48	5.62
		学	7.38	2.88	5.22	4.66	4.08	4.05	4.11
	D	調	4.18	8.81	6.62	7.25	6.50	6.18	6.50
		学	7.36	2.81	5.22	5.45	4.59	4.90	5.00
	E	調	4.38	9.00	6.77	6.27	6.22	6.33	6.27
		学	8.12	3.87	6.12	6.29	6.12	6.25	6.12
	F	調	2.93	8.06	5.64	5.19	4.87	4.90	4.93
		学	3.33	3.33	6.05	4.94	4.61	5.05	4.66
	G	調	3.28	8.40	6.00	5.42	5.40	5.14	5.14
		学	6.79	2.45	4.75	4.60	4.60	4.50	4.45
	H	調	3.79	8.66	6.41	6.33	6.20	5.70	6.04
		学	8.00	3.79	6.00	5.91	6.20	5.54	5.83
	I	調	4.03	8.83	6.63	6.86	6.60	6.60	6.53
		学	6.73	2.21	4.65	4.65	4.08	4.43	4.34
	J	調	3.77	8.63	6.36	6.95	6.72	6.95	6.77
		学	7.66	3.13	5.60	5.80	5.93	6.20	5.80

付表 V-3 学力検査得点段階と調査書成績との差が4段階以上ある者の平均段階（現役）

年度	高等学校区分	項目	調査書成績	学力検査得点	総合段階A	高校1年成績	高校2年成績	高校3年成績	高校3か年成績
48年度	A	調	4.25	8.62	6.50	7.12	6.25	6.00	6.37
		学	7.00	2.50	4.91	5.33	4.83	4.91	4.83
	B	調	3.58	7.91	5.91	7.33	6.58	6.41	6.66
		学	7.00	3.00	5.00	7.00	6.33	5.00	6.00
	C	調	3.65	8.15	6.03	5.69	5.84	5.46	5.57
		学	8.03	3.64	6.00	4.22	3.96	3.77	3.87
	D	調	3.68	8.55	6.27	6.62	6.00	5.58	5.93
		学	8.00	3.54	5.91	6.16	5.41	5.20	5.50
	E	調	3.81	8.90	6.63	6.63	6.63	6.72	6.45
		学	7.69	3.08	5.52	6.00	6.04	6.04	5.86
	F	調	4.00	8.66	6.55	5.22	4.94	5.38	5.05
		学	7.18	2.31	5.00	3.31	3.18	3.37	3.25
	G	調	3.03	7.68	5.48	5.06	4.58	4.68	4.51
		学	7.57	2.90	5.38	4.71	4.57	4.19	4.38
	H	調	3.88	8.64	6.47	6.41	6.47	6.00	6.17
		学	7.65	3.00	5.46	5.92	5.84	5.69	5.61
入学者	I	調	4.34	9.04	6.86	6.17	6.95	6.52	6.47
		学	6.86	2.73	4.86	4.93	5.13	5.33	5.06
	J	調	5.25	9.50	7.50	8.12	7.62	7.12	7.37
		学	7.18	2.81	5.12	5.75	6.00	6.06	5.81

注 調：調査書成績段階の方がよい者

学：学力検査得点段階の方がよい者

018171

年度	高等学校区分	項目	調査書成績	学力検査得点	総合段階A	高校1年成績	高校2年成績	高校3年成績	高校3か年成績
49年度	A	調	3.75	7.91	5.91	5.91	5.16	5.41	5.50
		学	7.14	2.85	5.14	5.00	4.57	4.85	4.85
	B	調	4.00	8.00	6.00	6.00	5.00	5.00	5.00
		学	7.00	2.50	5.00	7.50	5.00	6.00	6.00
	C	調	3.33	8.03	5.81	6.07	5.55	5.48	5.62
		学	7.12	2.80	5.03	4.41	3.77	3.70	3.83
	D	調	4.18	8.81	6.62	7.25	6.50	6.18	6.50
		学	7.14	2.71	5.00	5.07	3.92	4.42	4.50
	E	調	4.38	9.00	6.77	6.27	6.22	6.33	6.27
		学	8.05	3.75	6.05	6.20	6.15	6.15	6.10
	F	調	2.93	8.06	5.64	5.19	4.87	4.90	4.93
		学	8.00	3.45	5.81	4.81	4.45	4.45	4.45
	G	調	3.29	8.35	5.97	5.41	5.38	5.02	5.08
		学	6.90	2.36	4.72	4.18	4.18	4.09	4.09
	H	調	3.79	8.66	6.41	6.33	6.20	5.70	6.04
		学	7.95	3.72	5.95	5.86	6.22	5.50	5.81
入学者	I	調	4.03	8.83	6.63	6.86	6.60	6.60	6.53
		学	6.73	2.21	4.65	4.65	4.08	4.43	4.34
	J	調	3.77	8.63	6.36	6.95	6.72	6.95	6.77
		学	7.66	3.13	5.60	5.80	5.93	6.20	5.80

